

ととり Now

鳥取県総合情報誌 vol.118

2018
Summer

[特集]

大山開山1300年 その偉大なる軌跡

神と仮の宿る山

[特集]
障がいの有無超え、感動を共有
33年の歴史誇る人形劇団「いとぐるま」



文／角秋勝治 写真／田中良子
あーとの森
Forest of Art

『月に向かって進め』(玄武岩・鉄、124×244×80cm)



あまが天翔ける時間旅行 彫刻 井田 勝己

「宇」は時間、「宙」は空間という。2つは一体。どちらを抜きにしても、私たちは行動も存在もできない。待ち合わせをするにも、約束の時間と、場所という空間が欠かせない。つまり時空間は意識し、経験して、はじめて自分のものになるのだ。

しかし「時」には形がなく、捕らえることもできず、人によって感じ方もさまざま。時計があろうとも、恋人を待つのは長く、会っている間は短く感じられる。時計が役立つのは約束事の場合で、時間の本質は意識次第で異なる不思議な代物である。

井田勝己さんの造形は、この捉え難い宇宙をゆく「船」なのだ。かつて古代人は魂の甦りを信じて、船を棺として亡骸を送り出したが、船は推進力が必要なので、紡錘形の基本形は不变である。ゆえに甲板上の遺跡は、時を越えて存在するのである。

「時間には計れるものと、計れないものがある」と井田さん。石彫の重厚な『月に向かって進め』や、クリスタルガラスが輝く『時を繋ぐ舟』は、天翔ける壮大な時間旅行の形象化。ミステリアスな宇宙へ乗り出す、果敢な作家精神の航海と言えよう。



全身の色から異名は「火の鳥」

*表紙作品のモチーフにした県内に住む鳥の特徴を毎号、紹介します。

とっとりNow

鳥取県総合情報誌 vol.118 Summer

▶アカショウビン◀

全身がほぼ鮮やかな赤褐色の外見から「火の鳥」とも呼ばれる。くちばしは長く大きく、尾が少し短めで足は短い。全長は約27cm。「キヨロロロロ…」と房下がりに鳴く。つがいになると、キツツキのようにくちばしを使って樹木に穴を掘ってオスが巣作りをし、メスは手伝わないという。

参考文献*『とっとりの野鳥』(2003年5月、鳥取県発行)
写真提供*NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部 徳永 年彦



卷頭特集

33年の歴史誇る人形劇団「いとぐるま」

特集

神と仮の宿る山

大山開山1300年その偉大なる軌跡

あーとの森 彫刻 井田 勝己

生きものセンサー360°

K原さんちの里山Diary

樹液に屯する夏の虫たち

Human Life

ミシン修理職人 岩垣 正美

きらり匠人 繙承の技が語る世界

大野 知英 コスチュームアーティスト

花咲くYOKAI談 水木しげると身近な妖怪たち

べとべとさん

カジュアルな薬膳料理

鳥取のうま味

Viva!とっとりLIFE 鳴くLUUターン者たち

鳥取市環日本海経済交流センター長 兼 ロシアコーディネーター(鳥取市)

企業紹介 株式会社 和想

文字の迷宮をゆくつれづれ書林女子『巡礼』

Voice

読者プレゼント・編集後記

※カメラアイは休みます。

34

33

32

30

29

28

24

22

19

18

4

2

●表紙イラスト● ASAKURA KOUHEI (朝倉 弘平)



絵かき。1983年宮城県仙台市生まれ。自然との交感をテーマにした水彩画を描く。1年ぶりの個展。作品は『水たまりが旅に出る日』。我が家のあるこの水たまりに空が映り、水が巡る旅をその中に見た。1ヶ月の東京生活。家の庭のウドは今頃きっと大木だ。



いだ・かつみ

1956年、鳥取県生まれ。東京造形大学卒、兵庫教育大学大学院修士課程修了。現代日本彫刻展で大賞・神奈川県立近代美術館賞・神戸須磨離宮公園賞受賞。そのほか、エネルギア美術賞、中原悌二郎賞優秀賞、大村智賞大賞など受賞。2003年、文化庁の海外研修制度で渡米。現在、東京造形大学教授。

神と仏の宿る山

大山開山1300年
その偉大なる軌跡



「大山さんのおかげ」。ふもとで暮らす人々は朝な夕な心の中でそう唱え、雄大な大山の姿を仰ぎ見る。

崇高な山容に神を感じ、清らかな自然に仏を想う。

時代の変遷に翻弄されても、その篤い信仰心がゆるぐことはなかった。

それは、大山がいつもそこにあり、私たちを見守つてくれたから。

神仏宿る山は、今年開山1300年を迎える――。





1931(昭和6)年の牛馬市の様子
=写真提供:日本遺産大山山麓魅力発信推進協議会

親しみやすく紙芝居で表現



大山の歴史を紙芝居で語る吉島さん。観覧者が引き込まれる流暢な語り口

紙芝居作家伯耆伝承隊 吉島潤承さん

の素晴らしさをもっとたくさん的人に知ってもらいたい」と、2年前にこの紙芝居を制作した。

紙芝居は2本立て。1本目は「お地蔵さまの話」で、ほんわかと優しいタッチの絵で地蔵信仰の興りを紹介。2本目は「牛馬市とお地蔵さん」。昔のお百姓さん一家を主人公に牛馬市の成り立ちと発展を、力強く鮮やかな色彩の絵で表している。絵を描いたのは、境港市の薄井恵子さん、安来市の菊田美恵子さん。あたたかで親しみやすい絵と吉島さんの楽しい話しぶりで、紙芝居はたちまち評判になった。

学校や図書館、民間企業など、依頼があればどこへでも出かける。「鳥取県には自慢できるものがたくさんある。紙芝居を見て故郷に誇りを持ってもらいたい」と熱い思いを込めて演じている。

※2 学僧=修学中の僧

「今からおよそ2500年前のことです。お釈迦さまは、遠い遠い昔の世界から、私たちが住んでいるこの世界をじっと見ておられました」。軽快な語り口で大山の地蔵信仰と牛馬市の紙芝居を上演するのは、紙芝居作家伯耆伝承隊の吉島潤承さんだ。

学僧(※2)として大山寺縁起や地蔵信仰のことを研究していた吉島さんは、大山の日本遺産認定をきっかけに「大山

問 吉島潤承
☎ 090-3178-6774

信仰が「市」に発展、最盛期には10万人も

大山寺の開創は718年。出雲国玉造の獵師・依道(後に金蓮上人)は、金狼を追つて大山へ分け入った。矢で射ようとしたところ矢先に地蔵菩薩が現れ、依道はたちまち信心を起こし、地蔵菩薩を山中に祀ったというのが縁起である。

興味深いことに、地蔵菩薩はまもなく、もともとの山神「大山神」と習合して「大山権現」となる。「大山は古来から、祖先の靈が山頂に集

まり、そこから天界へと上つていいく『神の山』と信じられていました。そこに仏教が入ってきたので、山の神様と仏様を習合した。日本人の『和の精神』が、アニミズム(※1)の神様と仮教をうまく融合させたので

大館宏雄さんは大山の神仏習合をこうして大山は、「神と仏が宿る山」として人々の崇敬を集めるよう紐解く。

こうして大山は、「神と仏が宿る山」として人々の崇敬を集めるようになった。清らかな水を山から里に注いで豊作をもたらし、台風のような災害をその頂で遮り、この地に暮らす人々を救い守っている大山。晴天の日、抜けるような青空に雄大な姿が現れるとき、ああ確かに、神仏を感じずにはいられない。

大山の地蔵信仰は、「大山牛馬市」の誕生へとつながっていく。平安時代の高僧・基好上人は、大山中腹の牧野で牛馬の放牧を奨励。また、地蔵菩薩を牛馬の守護仏だとして、農耕や運搬など人々の生活に欠かせない牛馬の守護札を発行した。それはすぐさま知れわたり、山陰山陽もちろん、遠く近畿からもたくさん的人が牛馬を連れて大山寺を参拝するようになつた。やがて参拝客たちは牛馬の交換・売買を行うようになり、「大山牛馬市」のはじまりだ。

※1 アニミズム=自然界のそれぞれのものに固有の靈が宿るという信仰

地蔵信仰と牛馬市



延命をもたらすという湧水「利生水」の近くにある地蔵。大山の古道にはこの他にも、「番所地蔵」「子守地蔵」「弁慶地蔵」「ほほえみ地蔵」など、それぞれいわれのある地蔵が今も多く残っている(写真上)。大山寺入り口から大神山神社奥宮まで続く日本一長い石畳の参道(写真下)

真実でなくとも「信実」

『大山寺縁起之巻』を現代語訳
郷土史家・大原俊二さん



おおよその寺院・神社には、どのような由来でその地に誕生したのかという草創の起源や説話、靈験の言い伝えが存在する。それをまとめたものが「縁起」だ。大山寺にも古い縁起が伝えられており、鎌倉時代末期に書き留められ、時代ごとに書写を繰り返し、江戸初期の写本である『大山寺縁起之巻』が大山寺洞明院に残されている。

これを6年もの歳月をかけて初めて現代語に訳したのが、郷土史家の大原俊二さん。2016年9月に『大山寺縁起』のタイトルで出版。誰にも分かりやすい表現、詳細な解説が高く評価されている。

「原文は漢字仮名交じり文ですが、漢文の知識も必要ですし、仏教用語や人名・地名、書画等の固有名詞など登場する一語一句につまずきました」とその苦労を語る。1つの言葉を調べるのに丸々1冊本を読み、その道の専門家を訪ねては教えを請うという、果てしない努力の連続だった。

55節に分けられた現代語訳は、まるでオムニバスのように楽しめる。修行僧が「生身の地蔵」を拝みたいと下野国岩舟町（現在の栃木県）へ参る話、白髪の少女が大山に湧く闘伽水（※3）で髪を洗うとその御利益で美しい黒髪になった話など、さまざまな靈験の説話は実に面白い。

なかでも「兜率天（※4）から落ちてきた磐石が3つに割れ、熊野山、金峰山、大山になったという説話は、大山だけに伝わる貴重な一節」と大原さん。「説話の内容は真実ではないが、信仰する人は内容のすべてを『信実』として受け止めたと私は思うんです」。太古の昔から、大山に対する人々の信仰心はとてつもなく篤いものであった。

『大山寺縁起』はそれを証明している。

※3 闘伽水…神仏にお供えする清らかな水
※4 兜率天…弥勒菩薩の浄土



大山寺本堂。平安時代以降、最盛期には100を超える僧坊と3000人以上の僧兵をかかえ、隆盛を極めていたが、明治の神仏分離・廢仏毀釈をきっかけに衰退。現在は4つの参拝堂と10の支院を残すのみとなっている



大原さんが「大山寺縁起之巻」を現代語訳して出版した「大山寺縁起」。6年もの歳月をかけて難解な言葉の数々を紐解いた

未来へ引き継ぎたい 素晴らしい遺産

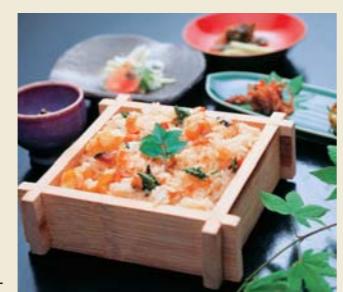
江戸時代中期になると、大山寺領の寺侍・吉川右平太によって牛馬市に定め、年に数回市を開いた。現在の「大山博労座」がその場所だ。そして売買は許可制とし、売上の1割を大山寺に奉納した。これにより牛馬市はさらに発展し、明治時代後期以降は年5回にまで増えたといふ。

「年間の参拝客数は約10万人、牛馬の数は1万頭以上になることも。参詣道は牛馬が列をなし、博労座は人と牛馬がひしめき合うほどだったという記録があります」と大館さん。

江戸時代中期になると、大山寺領の寺侍・吉川右平太によって牛馬市に定め、年に数回市を開いた。現在の「大山博労座」がその場所だ。そして売買は許可制とし、売上の1割を大山寺に奉納した。これにより牛馬市はさらに発展し、明治時代後期以降は年5回にまで増えたといふ。

【大山おこわ】

もち米に山菜、タケノコ、クリなど季節の具材を混ぜて蒸した「大山おこわ」は、大山山麓の地域に受け継がれてきた伝統料理。近郷の村々から参詣する人たちがおにぎりにして、携帯食として持参したという。現在でも祝い事や祭り、法事などの行事の際に、各家庭で作られている。



写真提供:大山町

【大山そば】

平安時代に基好上人が、牛馬の放牧とともに大山裾野で栽培を奨励したと伝わる蕎麦。この蕎麦を殻ごと挽いて作ったのが「大山そば」だ。大山牛馬市で集まつた人々にふるまわれ、市の隆盛とともに名物に。今も大山を代表する味として親しまれている。



写真提供:大山町

*参考文献「大山町おいしいもん2」(2017発行 大山町商工連携等サポートセンター)



「昔から人々が大切にしてきた『信仰』について改めて思いを巡らせて欲しい」と大館さん

1937年にその幕を閉じるまで、大河ドラマにもなりそうなこの壮大な歴史ストーリーは、大山伯耆、江府1市3町の「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」を日本遺産認定（2016年4月）へと導いた。開山1300年という100年に一度の機会に、いま一度大山信仰と歴史を見つめ直し、この素晴らしい遺産を未来へと引き継ぎたい。



牛の靈を慰めるため、鼻ぐり(牛の鼻にはめられる鼻輪)の銅を鋳造して作られた「宝牛」。願いをひとつ心に念じ、この牛を撫でると願いが叶うという



◎大山の大献灯◎

毎年、3日間で約9000人が訪れる「お盆の大献灯」は、大山の夏の風物詩として定着。和傘や灯籠でライトアップされた参道や大山寺は幻想的で風情たっぷり。

今年は、お盆の時期に加え、和傘灯りの期間を10日間に拡大して実施される。

時 8月24日(金)25日(土)26日(日)、9月22日(土)23日(日)24日(月)ほか。

所 大山寺参道周辺 間 大山町観光案内所 ☎ TEL0859-52-2502

※開催各日の入場券は、当日午後5時から販売(事前購入不可)。

安全確保のため、会場の混雑状況によっては入場できない場合もあり。





◎たいまつ行列◎

毎年、大山夏山開き祭(前夜祭)で行われるたいまつ行列に加え、秋にも実施。
荘厳かつ幻想的な夜の情景を繰り広げるほか、伝統芸能などのステージイベント
や山の幸や海の幸、地場産品など大山の恵みを集めた食の市場も。

時 6月2日(土)19時~、9月30日(日)19時~ **大神山神社奥宮~大山博労座**
問 大山町観光案内所 ☎ 0859-52-2502

う伝承から、この名が付いた。スラリとした刀身は、長さ2尺6寸5分（約80センチ）、反り約1寸（約3センチ）。その輝きは千年経ても今なお失われておらず、緊張感のある美しさに心を奪われる。また、大陸伝來の直刀から反りのある日本刀に変わったのがこの時代で、その特徴を与えられた初期の一振りとして高い価値を見出されている。

大山開山1300年に当たり、童子切を模した記念刀が鳥取市の刀工・金崎秀壽さんによって制作され、大山寺に奉納される。また、現存する安綱ゆかりの日本刀の一部を展示する「大山山麓の至宝」展も米子市美術館で開催予定だ。

「安綱が刀を鍛えていた平安時代後期、大山寺は100以上の僧坊と僧兵3千人を抱える最盛期でした。鉄を制する者が力を持った時代だけに、大山寺は安綱をはじめとする刀工たちをサポートしていたかもしれませんね」（石村さん）。

たたら製鉄と日本刀。そんなキーワードで山麓を巡れば、また違う表情の大山が見えてきそうだ。

※5 玉鋼=日本刀を作る時に用いる砂鉄を原料にたたら製鉄でつくる不純物の少ない強靭な鋼。

※6 伯耆国大原地区=現在の伯耆町大原、日南町大原、倉吉市大原、米子市日下など諸説ある。

※7 丹波国大江山地区=現在の京都府・兵庫県の一部

名刀が生まれた歴史あり

「大山～出雲エリアの歴史は、『たら』を抜きには語れない」。山陰の歴史文化に詳しい、公益財団法人とっとりコンベンションビューロー理事長・石村隆男さんはそう話す。

木炭を燃やした熱によって砂鉄を還元し、純度の高い鉄を取り出すたたら製鉄は、日本で6世紀頃に始まり、山陰では奥日野、奥出雲地区で

盛んに。中国山地の風化した花崗岩地質から良質な砂鉄が採れたからだ。ゆえに江戸時代後期、中国地方で生産した鉄は全国シェアの8～9割を占めるほどに発展。なかでも日南町印賀地区で造られていた「印賀鋼」は不純物が少ない上質の玉鋼（※5）で、トップブランドとしてその名を馳せたという。

「『たら』は重要なキーワード」と石村さん



伯耆国の名匠・安綱が打つ



太刀 銘 安綱
(大神山神社蔵・米子市
美術館寄託)



大山の頂上付近で厳かに行われる「もひとり神事」

◎特別版「もひとり神事」◎

大神山神社奥宮で夕祭が行われた後、派遣祭を経て大山山頂へ向かい、頂上付近の石室で神祭執行後、靈水と薬草を採取する神事(無形民俗文化財)。今年は特に神楽と舞が披露され、観光客に御神水を振る舞う。

時 7月14日(土)15日(日)
所 大神山神社奥宮～大山山頂
問 大山町観光案内所
☎ 0859-52-2502

◎開山1300年特別御朱印・御朱印帳◎

大山寺開創1300年を記念し、2018年のみの特別な御朱印を授与する。また、伝統工芸「弓浜絣」を使用した期間限定の御朱印帳も販売中。

時 11月30日(金)まで。

所 大山寺本堂

代 特別御朱印帳5000円、特別御朱印300円
問 大山寺
☎ 0859-52-2158

◎大山秋季大祭・秋のご縁日◎

平安衣装に身を包んだ子どもたちが大山寺参道を練り歩く「稚児行列」や、祭壇の護摩の炉に供え物を運び、天の恩恵にあずかることができる「彩灯大護摩法要」のほか、散餅、大山僧兵太鼓などが楽しめる。

時 10月24日(水)
所 大山寺周辺
問 大山寺
☎ 0859-52-2158



僧兵たちの偉業を後世に残す形として、古くから伝わる「大山僧兵太鼓」。地元の有志たちが継承し、今もイベントなどで披露する

[Stage1 大山への祈り]テーマ／調う

大山の恵みを感じるプロジェクト

◎「大山山麓の至宝」展

～「大山」ゆかりの刀を中心に～◎

伯耆の刀匠、安綱と大山ゆかりの刀など、大山山麓の刀剣文化を背景とした名刀の数々や、大山の重宝を展示する。有識者による記念講演や日本刀研師、鞘師による実演などもあり。

時 7月29日(日)～8月26日(日)

所 米子市美術館

問 米子市美術館

☎ 0859-34-2424

◎大山山麓の謎解き宝探し◎

謎解きストーリーによって圏域内に点在する地域の観光資源を結び、ゲーム感覚で歴史・文化などに触れるまち歩き。「宝の地図」を手がかりに、謎を解きながら隠された宝箱を探索し、全ての宝箱の発見を目指す体験イベント。

時 7月1日(日)～9月30日(日)

所 大山山麓周辺

問 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会

☎ 0859-31-9363

◎伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典◎

出雲国風土記に記された日本最古の神山・大山の1300年にわたる歴史や文化、伝統、人々の祈りや営みなどを顕彰し、全国にPRする式典を開催。

時 8月9日(木)

所 米子市公会堂

問 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会

☎ 0859-31-9638

緑のプロジェクト



トレイル・ウォーキングで大山の自然と歴史を楽しむ参加者たち=写真提供：鳥取県

◎新しい「大山詣り」ホーリートレイル大会◎

かつて大山詣りに使われた大山古道の尾高道、川床道、横手道をたどって、一斉に大山を目指すトレイル・ウォーキングイベント。大自然とともに大山詣りや牛馬市などの日本遺産のストーリーを体感できる。

時 9月30日(日)

所 大山古道(尾高道・川床道・横手道)

問 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会

☎ 0859-31-9371

◎第3回「山の日」記念全国大会in鳥取◎

「山の日」(8月11日)に合わせ、山を守る活動の聖地・大山から自然保護の重要性や、山とともに生きることの素晴らしさを国内外にアピール。記念の大山登山やレセプション、シンポジウムや歓迎フェスティバルを開催する。

時 8月10日(金)11日(土・祝)

所 大山総合体育館(記念式典)、米子市公会堂(シンポジウム)等

問 第3回「山の日」記念全国大会in鳥取実行委員会

☎ 0859-31-9383

水と食のプロジェクト

◎地BeerFest大山2018◎

恒例となった「地ビールフェスタ」をバージョンアップ。大山開山1300年祭記念の地ビールや地元の食材、自然キャンプメニューの提供のほか、音楽などのステージイベントもあり。自然の中でゆったりと大山の水と食を堪能できる。

時 6月9日(土)10日(日)

所 樹水高原駐車場周辺

問 伯耆町観光協会

☎ 0859-68-3315

◎奥大山うまいもん祭り◎

奥大山エリアの素材を生かした伝統料理や新メニューを特設ブースにおいて販売。このほか、木谷沢渓流をメインとした奥大山エリアのガイドツアーも実施。

時 10月27日(土)28日(日)

所 奥大山スキー場エリア

問 江府町農林産業課

☎ 0859-75-6610

CLIMAX EVENT 大山ワンダーフォーラム

◎農と食のフェスタinせいぶ◎

鳥取県西部の4つの食まつりが集結した食のみやこ鳥取県最大級の食の祭典。地元の食材や料理など「美味しい」が盛りだくさん。

時 10月20日(土)、21日(日)

所 米子コンベンションセンター

米子駅前、米子市文化ホール

問 鳥取県西部総合事務所農林局

☎ 0859-31-9652

◎大山ブランドフェスティバル◎

大山ゆかりの味覚や郷土料理をテーマとしたオリジナル料理コンテスト、料理教室、天然水のテイスティングなど、多彩なイベントを実施。

時 10月20日(土)21日(日)

所 米子コンベンションセンター

問 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会

☎ 0859-31-9648

◎「大山を詠む」俳句コンテスト◎

風光明媚な大山をテーマにした俳句コンテストを実施。当日は、ステージ発表や作品展示もあり。

時 10月20日(土)

所 米子コンベンションセンター

問 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会

☎ 0859-31-9371

◎たらサミット全国大会(仮)◎

「たら製鉄」の保存、活用に取り組む団体が一堂に会し、パネルディスカッションや基調講演を通じ、その魅力に迫っていく。

時 10月21日(日)

所 米子市公会堂

問 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会

☎ 0859-31-9371

◎大山「星」のフェスタ◎

「デジタルペインティング」の先駆者であるクリエーター・KAGAYAさんが制作した大ヒット番組の上映やトークショーやワークショップのほか、星空ウォッキングも。

時 10月20日(土)

所 米子市児童文化センター

問 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会

☎ 0859-31-9371

開山1300年祭に合わせ、大山周辺ではさまざまな行事やイベントが企画されている。
目、耳、舌……五感で大山の魅力を味わえる、その一部を紹介。



大山開山プレート1300

【しゃぶしゃぶ・寿司・和食 海王】

境港産マグロの造り、北栄町特産の長芋・ねばりっこいとろろ、日南町産トマトのサラダなど、地元の美味が一遍に味わえる花かご御膳。大山鶏そぼろ飯は、ミネラル豊富な中海の海藻を有機肥料にして育てた奥大山海藻米「美里」を使用。



大山鶏の鉄焼きライスin ハンバーグランチ

【エミーズカフェ】

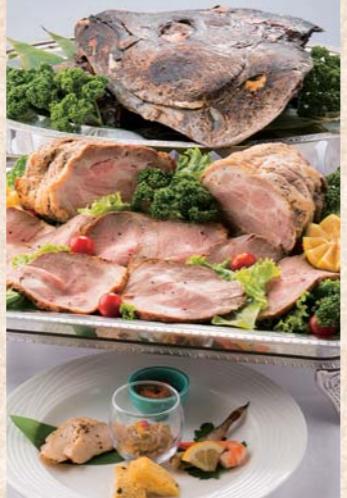
日野郡産の米を大山鶏で包んだハンバーグでたたらの炉を表現、中から流れ出すチーズを溶けた鉄に見立てたというユニークな料理。地元の高校生が考案した特別デザート「たらアフォガート」付き。



境港本まぐろのローストビーフ風と地産野菜の 昆布〆～山葵ソース掛け～

【旬門 米子本店】

「大山」を地元食材で鮮やかに表現した一皿。牛肉と見紛うばかりの上質な境港産本マグロで牛馬市を、紅芯大根とレッドオニオンは夏山開き祭のたいまつ行列をイメージ。大山黒ぼく土壤育ちの野菜は昆布〆で旨みたっぷり。



大山開山1300年祭記念パーティー料理

【味屋プラザ】

故郷の海・山の幸をふんだんに盛り込んだパーティー料理。大山ハーブ鶏、脂ののった境港産ハタハタ、地元野菜の煮物といった前菜に始まり、メインディッシュは大山豚のロースト、境港産本マグロのかぶと焼きと豪華。

(※季節により食材変更あり)

シフォンケーキ

【カフェ・ド・穂のか】
南部町で採れたマコモダケのパウダー入りで、上品な甘さ。ふわふわの生地の中に、大納言小豆が入っており、程よいアクセントになっている。豆腐製のクリームもヘルシー。数種類から選択可能だ。(季節により変更あり)



伯耆国「大山開山1300年祭」おもてなし料理



鳥取和牛大山ロール寿し

【華水亭】

大山に見立てた三角形のロール寿し。シャリの中心に地元野菜を置き、鳥取和牛で贅沢に巻き上げたら、バーナーで表面をひとあぶり。牛肉の脂がいい感じで溶け出し、トロリとした味わいが口いっぱいに広がる。



猪の冷製パスタ

【緑水園】

地元で獲れたイノシシ肉の冷しゃぶをトッピングしたヘルシーなパasta。レモン、ミョウガの葉味を添えてさっぱり食べられる。野菜ももちろん地元産でパプリカ、ズッキーニ、水菜の色鮮やかさが食欲をそそる。



ふるさと宝箱弁当

【仕出し料理 味屋】

大山おこわ、鳥取和牛、境港産イカ、大山ブロッコリー、砂丘ラッキョウ等、故郷自慢の美味しい食材がギュッと詰まった、まさに宝箱のよう。大山高原の景色を眺めながらピクニック気分で味わえば美味しいアップ。

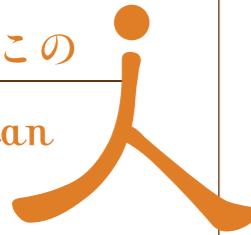


大山牛骨そば

【皆生グランドホテル 天水】

冷・温2種類の大山そばが選べるセット。牛骨・県産野菜をベースにトビウオ・煮干し・カツオ節で旨みを加えた出汁が麺の味を引き立てる。牛骨から出るコラーゲンがたっぷりで女性にオススメ。

地元の飲食店では、伯耆国「大山開山1300年祭」に合わせ、大山周辺の食材をふんだんに使ったおもてなし料理を創作し、大山圏域の水と食の魅力をアピールしている。その一部を紹介。



コスチュームアーティスト
大野 知英
Chie Ono

人は「身にまとうもの」だけで、こんなにも「自由」になれるんだ。コスチュームアーティストの大野さんは、時に人を砂像に変え、時に詩人の心象風景を布に染める。素材にも仕立て方にもとらわれず、衣服の可能性を追求し続けている。

文／井田 裕子 写真／田中 良子



里山の生きものにアンテナを張り巡らせ、日々奔走する桐原夫妻の日常をエッセーと写真で紹介。

文／桐原 真希 写真／桐原 佳介

スミナガシとミヤマクワガタ



たむろ
樹液に屯する夏の虫たち

森の中には盛夏ならではの「酒場」がある。クワガタ、カブトムシ、チョウに、カナブンと客らで賑わうその光景は、「居酒屋くぬぎ亭」「酒処こなら林」などど「屋号」をあてがってやりたい気分だ。

大きなシロスジカミキリの幼虫が、その幹の中で成長し、大人になって外の世界へ旅立つ時、樹皮に指先くらいの穴が開く。そこから溢れ出る樹液が、微生物によって発酵し、アルコールを生成するのだ。特にクヌギやコナラは大人気。甘酸っぱい高カロリーの栄養分を蓄えたそれを、森の虫たちが見逃すはずもなく、昼も夜ものんべえたちが屯している。

だけど近年、その客層の多様性に異変が。店舗数も、来店客の数や種類も年々、減っている気がして、環境の変化を感じずにはいられない。

林縁を歩くとふと鼻先をかすめる発酵臭。生き物好きにとって、樹液ポイントはお宝ポイント。「心ときめく訪問客がいないだろうか」。虫たちの命をつなぐ天然ドリンクを惜しみなく提供する店を探しに、この夏も森を歩いてみよう。

スミナガシとミヤマクワガタ



カナブン



ノコギリクワガタのペア



Profile

- ▼きりはら・まさ=東京農業大学農学部卒業。1996年から自然観察指導員として活動。里山関係の体験事業を行う「もりまきフィールドネットワーク」代表。2児の母。
- ▼きりはら・けいすけ=東京農業大学農学部卒業。1999年に転職で神奈川県から米子市に転入、2003年に南部町へ移住。現在、米子水鳥公園主任指導員。野鳥をテーマとした環境教育活動や調査研究、湿地保全活動などに従事する。



豊かな発想で衣服の可能性追求

おの・ちえ

鳥取市出身。成安造形短期大学・ファッショニアートコースで舞台衣装を学ぶ。在学中の2003年、日本デザイナークラブ・ファッションドザインコンペティションでグランプリを受賞。以降、京都を拠点に演劇・ダンス・ヘアメイクショーなどの衣装制作を中心に、コスチュームアーティストとして、国内外のコンテストで数々の賞を受賞し、幅広く活躍中。成安造形大学・非常勤講師。

これが「動く砂像」の誕生だつた。砂丘の『砂の精』、しゃんしゃん傘の貴婦人『シャン婦人』、特産品をモチーフにした『ラツキヨウ仙人』など、鳥取にまつわるユニークな7体。11、12年は「鳥取砂丘イリュージョン」のメインイベントとして砂丘を舞台にパフォーマンスを披露し、13年にはフリーピンで開かれた国際的な舞台衣装の祭典「WORLD COSTUME FESTIVAL 2013」の2部門で金メダルを受賞。「動く砂像」は世界でもその魅力を認められる。

以前は「こうしなきや、周りからこう見られたい」と、気負うところがあつたが、イベントや舞台を通じて鳥取と再び関わるようになり、「やさしく心温かい人たちと接していくうちに、『ああ、自然体でいいんだ』って」肩の力が抜けたという。

「人は生まれてからずっと服を

着て過ごします。でも、ファストファッション（※）が主流の現代、服を着ることも単に消費の一環になつていてる気がします。『服を着る素晴らしさ、を、どう表現して、どう伝えていくかを摸索中です』。

一着一着に深い意味が込められた彼女の衣装を身に着けた時、新しい自分に出会えるかも知れない。そんなワクワクが止まず、今後も目が離せない。



なら国際映画祭2014、水上パフォーマンスの衣装「もつれ」（2014年）
撮影:Shigeki Tsuji



日本デザイナークラブ・ファッションドザインコンペティションでのグランプリ受賞作「蓮」（2003年）
撮影:大久保 啓二

「誰も見たことがない」を表現

物心ついた頃には、将来は「ファッションドザイナーになる」と決めていたといふ大野さん。高校卒業後は京都の成安造形短期大学のファッショニアートコースに進学。そこで自由な服づくりを学び、在学中の2003年に日本デザイナークラブ・ファッションドザインコンペティションでグランプリを受賞する。

卒業後は、不特定多数の人に対して服を提案する一般的なファッションドザイナーではなく、テマや演じる人に合わせた一点ものが求められる舞台衣装の世界へ。「誰も見たことがない服」との思いからだった。

大学の先輩であり、舞台演出や衣装デザインを手掛ける田中秀彦さんが主催する身体装飾グループ「IRONIC editH DESIGN ORC HESTRA」に参加。1年には、回

トなどの衣装制作と、幅広い分野からの依頼が増えていつたが、多忙な日々の中で、ふと立ち止まらだつた。

演劇やダンス、ショー、イベン陶器(牛ノ戸焼)やラッキョウの花などをイメージし、独自の色に染め上げた舞踊「夢の破片」の衣装

る。「私は何を表現したいのか。そもそも『私って何?』と悶々とした日々が続きました」。

早い段階で大きな賞をもらったことも、プレッシャーになつていたという。

そんな時、鳥取で行われた幼なじみの結婚式に出席。偶然、当時の岩美町長と話をしたところ、「鳥取砂丘でファッショントシヨーがしたい」と口にしたところ、「冬のイルミネーションイベント「鳥取砂丘イリュージョン」の実行委員長を紹介してもらえたことに。

そもそもその発想はどうから来

た? 大野さんは「鳥取県出身者なら砂丘で何かやりたいって、割とみんな思つてますよ」と屈託なく笑う。「自分のつくる服で鳥取を盛り上げられるかも!」と、新たに挑戦する気持ちが、モチベーションアップにつながつた。

しかし、砂丘は舞台などの設営が難しい規制がある国立公園。思わず壁にぶつかるも、「じゃあ、『ヒト』のみなら問題ないはず」と発想を転換。砂をイメージした衣装を身に着けた人がパフォーマンスする、という奇抜なアイデアを思いつく。



テーマに合わせた舞台衣装の世界へ

ユニットで活動するバーメイクアップアーティストの歯原諭子さんと「heterophonic Dada」を結成し、植物や星、人の思いなどをテーマに作品を発表して国内外のコンテストで数々の賞を受賞するなど、身体装飾の可能性を広げている。

盛り上げたい思いから「動く砂像」が誕生

アーティストの歯原諭子さんと「heterophonic Dada」を結成し、植物や星、人の思いなどをテーマに作品を発表して国内外のコンテストで数々の賞を受賞するなど、身体装飾の可能性を広げている。

感動を共有

障がいの有無超え、

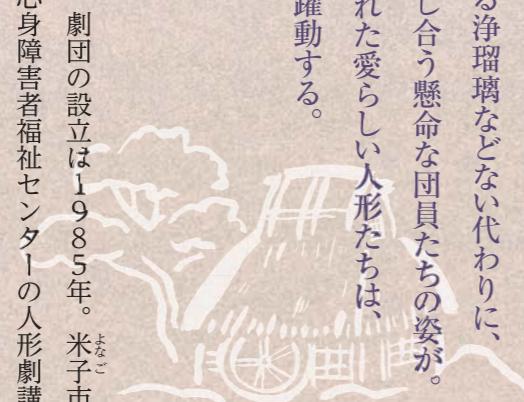
33年の歴史誇る人形劇団「いとぐるま」



一歩、外に出るきっかけを



国内唯一の アマチュア劇団



劇団の設立は1985年。米子市心身障害者福祉センターの人形劇講座として、1人の障がい者を含む7人でスタートした。「当時はまだ、障がい者は家の中にいるものという考え方方が強かった。それは『できないう』ではなく、『させていない』ということ。だから人形を使い自らが表現することで、外へ出るきっかけを作りたいと思った」。代表の小磯保弘さんは、当時の経緯を語る。

ただし、まさに手探り状態だった。例えば「人形の動きが見えない視覚障がいがある人に、どう正面を教え

老若男女、幅広い年代が集う「いとぐるま」。
毎週1回、和気あいあいと練習に励む

くるくると変わる表情、しなやかに動く肢体」。

33年の歴史を誇る人形劇団「いとぐるま」の公演での印象は、「普段着の文楽」だった。

そこには、難しい大夫の語りや

三味線が奏てる淨瑠璃などない代わりに、互いにフォローし合う懸命な団員たちの姿が。

命を吹き込まれた愛らしい人形たちは、

今日も舞台で躍動する。

たらしいのか」そこからの出発。そ

して稽古を繰り返すうち、「小さな明かりが点いていれば、そつちが正面だとわかるよ」などと、逆に教えられることもあった。「表現力とうのは、むしろ障がいがある人の方が豊か。人形がおおらかに動くんですよ」と、小磯さんは感心する。

設立から3年後、初めて「人形フェスティバルゆめっこ祭り」(米子市)に出演。障がい者が所属する唯一の劇団ながら、見事、最優秀賞に輝いた。この受賞によって、団員みんなが世の中していく自信をつけていった。

その後、「ひらかた人形劇フェスティバル」(大阪府枚方市)に招待されて初参加。以降、レギュラー劇団となり、今年で25回目の参加は山陰唯一。そして、過去、県内で開催された「平成の3大イベント」(※)全てに出演したのも「いとぐるま」のみ、というのも自慢のひとつだ。

現在は視覚、発達、知的の障がい者5人を含む18人で活動、国内で才

ンリーワンのアマチュア劇団に成長した。

毎週木曜日の午後7時、同センターの体育室に、仕事や学校などを終えた団員が三々五々集まつてくる。週に一度の練習日だ。

準備が整い、いよいよ練習が始まろうとする頃、団員のひとりが、椅子に腰掛けている団員の手を取り、寄り添つて舞台裏へと入つていった。それは、とても自然な流れだった。

座っていたのは、小玉秀昭さん。在籍27年、視覚障がいがある「スター座長」だ。点字を使った民話の語り部でもある。

「今は、我々も積極的に社会参加できる世の中になつてきてるし、それを受け入れられる時代になつた。障がい者も同じ境遇の中だけでは行動するのではなく、健常者と共に活動できる場所があれば、どんどん参加すればいいなと思います」と話す声は、さすが聞き心地が良い。「観客の拍手や声援がいちばんの励みとも。



手弁当で民話を伝承

県内外で1年に6公演



「試行錯誤を重ねてここまで来ました。大切なのは楽しみながら続けること」と代表の小磯さん

公演の終わりには、観客との触れ合いも=写真提供:いとぐるま



途中に影絵も登場。観客を飽きさせないよう趣向を凝らす

人形劇団いとぐるま
☎ 0859-29-6155(小磯保弘さん)

「障がい者は普段、ボランティアに頼る側になることが多いけど、我々は伝承活動をするボランティア劇団。ここでは団員みんなが、「伝承という任務」を担つたボランティアをする側なんです」(小磯さん)。

驚くことに米子弁の台本も30年以上大切に使つている人形も、すべて団員による手づくりという手弁当だ。セリフは、本番の不安を解消するためにと、録音を流す工夫もされている。

「障がい者は普段、ボランティアに頼る側になることが多いけど、我々は伝承活動をするボランティア劇団。ここでは団員みんなが、「伝承という任務」を担つたボランティアをする側なんです」(小磯さん)。

これまでの長きに渡る活動には、かなりの苦労もあつただろう。けれど、小磯さんは「辛いことは気にならない。良いところを見つけてポジティブにやっていかないと続かない。我々が楽しむことで、見る方も楽しめるはず」と頼もしい。

続けて「今後の目標は世界」とつぱり。現に、アメリカからの出演依頼もあるという。そう遠くない未来、世界の舞台で「いとぐるま」が演じる人形劇に、あたたかい拍手が贈られる日が来ることを願いたい。

た。障がい者も同じ境遇の中だけで行動するのではなく、健常者と共に活動できる場所があれば、どんどん参加すればいいなと思います」と話す声は、さすが聞き心地が良い。「観客の拍手や声援がいちばんの励みとも。

演目は、鳥取県の民話伝承を目的に構成し、「伯耆かつぱ」「人形峠のばけ蜘蛛」「キツネの隠れみの」「まじ峠の青大将」など、10種類ものレパートリーがある。途中に影絵の演出も加えるなど工夫を凝らし、見る者を飽きさせない。



「観客の反応がいちばん嬉しい」と座長の小玉さん



団員が息を合わせて躍動感ある動きを演出する舞台

鳥取の
うま味

クセになる味と 香りが魅力



薬膳鍋の「美肌鍋」(1人前 税込3280円)。すっぽんコラーゲンスープは、加熱するうちに、スッポンのエンペラ(周りの柔らかい部分)から、うみがどんどん溶け出す。もう一方の自家製ブレンドスパイススープは香りに特徴あり。食材は大山豚ロース・コラーゲン鶏団子・季節の葉物野菜・金針菜・白キクラゲなど。〆は緑豆豆乳うどんか十五穀米雑炊のどちらかを選べる



●薬膳ダイニングGOGYO●

所 米子市東町282
☎ 0859-21-5362
當 11時30分～14時(13時半LO)、
17時～22時(21時LO)
休 月曜日のランチタイム、日曜日
WEB <https://www.instagram.com/gogyo.yakuza/>
<https://m.facebook.com/gogyo/>

白壁の洒落た外観、扉を開けたとたん、ふんわりと漢方薬の香りが漂う。深呼吸するだけで、元気が出そうだ。

店主の木下亮介さんは、大阪で数年、スッポン料理を学んでいたが、調理経験を生かし、「薬膳料理をカジュアルに提供したい」と、米子市に店を開いた。実家が調剤薬局だったため、体調を整える漢方に关心があつたからだ。

すべてのメニューは薬剤師の姉が監修。中医学(中国漢方)の二十四節気に基づいて、季節に合った食材と調理法で提供する。2人で試行錯誤して完成させ、体にいいのは折り紙つきだ。

薬膳鍋はスープが2種類。一番人気の美

肌鍋は、「すっぽんコラーゲンスープ」と「自家製ブレンドスパイススープ」で、ほのかに漢方が香るが食べやすく、多様な食材の深い旨味が染み渡る。肌も心も満たされ感、が女性に嬉しい。

单品料理も豊富で「花椒と桂皮の麻婆豆腐」と、米子市に店を開いた。実家が調剤薬局だったため、体調を整える漢方に关心があつたからだ。

予防医学への入り口になれば」と木下さんは、客の体調の相談に応じることもしばしばだという。リピーターが多い理由もある。なんなく心身の不調を感じる日、パワーチャージができそうだ。

文/松村 亜紀子 写真/田中 良子

境港市で開かれた第1回世界妖怪会議(1966年8月)
写真提供:足立 優行



「いよいよ立ち上がるんですよ！水木サン(自身のこと)は世界妖怪協会を創設し、会長になります！アンタも協力してください」。

水木さんに呼ばれ、東京都内の事務所に出向いたのは1996年1月。開口一番、鼻息も荒く、嬉々とした表情で語る水木さん。聞けば、世界中にある妖怪・精霊・お化けなどを研究し、それら靈文化の啓蒙活動を行う組織であり、定期的に機関誌を発行し、毎年、世界妖怪会議(※)を開催すること。

水木さんは、この数年前から「神、靈魂、妖怪、幽霊。それぞれ姿は違ってもみんな精霊。なかでも妖怪は、世界のどの民族にも約1000種いる」という「妖怪千体説」を口にし始めていたから、私は「水木妖怪ワールドの集大成か」と思った。

その年の8月、境港市で第1回世界妖怪会議が開かれ、私が司会を務めた。出席者は水木さんの他、作家の荒俣宏さん、京極夏彦さん、妖怪研究家の多田克己さん、林巧さん。それに民族音楽研究者の山田陽一さんと実に錚々たる顔ぶれだった。

「いやあ、ほんとは大儀なんです。もう73歳だからのんびりしたいのに、頭の中の助手席に宇宙から派遣された誰かが座ってて、『こっちへ行け！』と命令されるとの按配です」

前年に7回の海外冒険旅行をこなし、42冊の書籍を出版した御大は、顔を歪めてみせた。

※世界妖怪会議=2008年まで全国各地で開催

▼参考文献:『妖怪画談』(1992年、水木しげる著、岩波新書)
『決定版 日本妖怪大全』(2014年、水木しげる著、講談社文庫)

文/足立 優行 イラスト/ミギワン

境港市出身の漫画家・
故水木しげるに
まつわるエッセー

花咲く Yokai談

水木しげると身近な妖怪たち

後ろから足音、ドキドキの夜道

「べとべとさん」。柳田国男の「妖怪談義」(1957年、講談社学術文庫)によれば、奈良県宇陀郡に現れた「後から誰がつけて来るような足音」をさせる妖怪だといつ。水木さんも生まれ故郷の境港市で小学生の頃に出会った。兄の宗平さんと一緒に「それはべとべとさん」と叫んで走って家に帰ると、当時家に出入りしていた家政婦のなんばあが「それはべとべとさん」と言えば、「おお、おお」と喜んで抱きしめた。なんばあは信心深いいい」と対処法も教えてくれた。なんばあは「おお」と呼んで、水木少年の「妖怪の先生」だった。老婆で、水木さんは、「このほか似たような目撃情報」が全国各地であるらしい。

IIIべとべとさん!!

足立優行(あだち・ゆうゆう)は、新潟県生まれ、同郷の先輩である水木しげるさんに約2年間密着取材し、『妖怪と歩くドキュメント水木しげる』(1994年新潮文庫)を刊行。主書に『日本海のイカ』『北里大学病院24時』『血脉の日本古代史』など。※今井書店より復刻版発売中

ミギワン 漫画家・イラストレーター。石川県生まれ、鳥取県育ち。
WEB=<http://migiwan.com/profile>
facebook=<https://www.facebook.com/migiwanroom/>

【問】
公益財団法人
ふるさと鳥取県定住機構
所 鳥取市扇町7
鳥取フコク生命駅前ビル1階
0857-24-4740
WB <http://furusato.tori-info.co.jp/>

▼IJUターン就職に関する相談
0120-307-238
(8時30分～17時15分※土日・祝日除く)

▼移住に関する相談
0120-841-558
(8時30分～17時15分※土日・祝日除く)
○とつとり移住定住ポータルサイト
WB <http://furusato.tori-info.co.jp/iju>



[PROFILE]
◎家族構成／夫
◎移住前の住まい／ロシア・ハバロフスク市
◎移住時期／2011年2月
◎現在の仕事／鳥取市環日本海経済交流センター長兼ロシアコーディネーター



毎年春に鳥取市で開催される「鳥取マラソン」に参加するため、ロシアの沿海地方から訪れたチームに随行。砂丘で大はしゃぎ(2015年3月)
写真提供：チェブラコワ・イリーナ



- ▼IJUターン就職に関する相談
0120-307-238
(8時30分～17時15分※土日・祝日除く)
- ▼移住に関する相談
0120-841-558
(8時30分～17時15分※土日・祝日除く)
○とつとり移住定住ポータルサイト
WB <http://furusato.tori-info.co.jp/iju>

日本に魅せられ25年 鳥取は「第2の故郷」

心に響いたら即実行

「初めて訪れた時は、まず人の少なさに呆然。でも、街の空気や豊かな自然が故郷のベラルーシと似ていました。人も素直でやさしく、今や2番目の故郷です」と、イリーナさん。何より、ロシア国内が安定しない90年代初期から、鳥取県がウラジオストク市と交流を育んでいたことに、鳥取との『縁』を感じているという。

現在の勤務先では、ハバロフスク市のスーパーへのナシの仕入れや、ロシア車の買い付けなど、150件以上の相談に関わってきた。「メイ

ンは経済交流なので、鳥取市のビジョンに沿って、徐々に環境を整えながら活動しています」。

自身の交流テーマは『おそ（恐）ロシアならぬ、おも（面白い）ロシア』という。日本映画、日本茶、着物、焼物、空手をこよなく愛し、休日にはロシア料理教室の講師を務めるなど、ロシア文化の発信にも積極的に関わる。「心に響いてムズムズしたら即、実行。やらない後悔よりも、やった後悔の方が私は好き」。

移住して7年。イリーナさんは天

然爛漫、ポジティブな性格で、すっかり鳥取の土地と人に溶け込んでいる。



「思い立ったら行動です！」とポジティブなイリーナさん

◎鳥取市環日本海経済交流センター長兼ロシアコーディネーター(鳥取市)◎

チェブラコワ・イリーナさん

ベラルーシ共和国出身

ロシア極東地域、韓国、中国と、経済・文化交流を推進する鳥取市。その架け橋となる環日本海経済交流センターには、3カ国出身のスタッフが常駐している。その中で対ロシアの窓口を担うのが、チェブラコワ・イリーナさんだ。ロシアで日本文化にふれて以来25年以上、両国の交流事業の最前線で活躍している。

猛勉強し、憧れの日本へ
イリーナさんは、1971年、現在のベラルーシ共和国に生まれ、リハビリ体育のスペシャリストを目指し、ロシア極東地域に位置するハバロフスク市の国立体育大学に進学。しかし、卒業時の92年に旧ソ連が崩壊し政情や社会生活が激変する中、ようやく就職できたのは、日露合弁企業が経営するハバロフスク市の日本料理レストランだった。

この店で働きながら日本語とその文化に興味を抱き、2年後、在ハバロフスク日本センターに転職。日本の言葉や習慣を学びながら、オフィスマネージャーとして勤務すること17年。この間、2001年に語学研修のために東京に初来日、07年に国際

の言葉や習慣を学びながら、オフィスマネージャーとして勤務すること17年。この間、2001年に語学研修のために東京に初来日、07年に国際



「女子力アップツアー in MISATO」(鳥取市南商工会主催)のモニターツアー(2017年)
写真提供：チェブラコワ・イリーナ

スカイプを使って会話をする授業(学校からの依頼でイリーナさんが講師に)(2017年12月)
写真提供：チェブラコワ・イリーナ

鳥取市への移住のきっかけは、翌11年。当時、市が運営するロシアとの交流窓口「ロシアサポートデスク・鳥取」の相談員募集に導かれてのことだった。13年4月、「環日本海経済交流センター」に転職、現在はセンター長とロシアコーディネーターを兼務。引き続き、幅広い分野で鳥取とロシアの橋渡し役を担っている。

交流基金の日本語研修プログラムに半年間参加、10年には実務研修で3ヶ月間、兵庫県内の貿易会社に勤めた。



■鳥取市環日本海経済交流センター■
所 鳥取市末広温泉町160 日交本通りビル2階
0857-30-4606 WB <http://www.tiedec.jp/>



文／島 香子
写真／萱野 雄一

着物を通じて『和の心』、世界へ

着物を通じて『和の心』を世界へ——。

着物を単に着るものとして捉えるのではなく、

オシャレを追求し、着る楽しみを

トータルプロデュースする、株式会社和想。

日本はもとより海外にも拠点を設け、着実に着物ファンを広げている。

その原点には、ガンジーに憧れた代表者の思いがあった。

代表を務める池田訓之さんは、ガンジーに憧れ、弁護士を目指していたが、大学卒業後10年間チャレンジするも叶わず、京都で友人が経営する呉服店に就職。知識も経験もなくゼロからのスタートだったが、根づかから店長、支社長とキャリアアップを果たしていく。同時に10年間で、京都から兵庫へ次々と店舗を拡大していく、その才覚を發揮した。

そして2005年、これまでの呉服店と商圏が異なる鳥取で株式会社和想を起業。現在は米子市、松江市など、国内で5店舗を経営するまでに。「物事は全て必然。着物との出会いもそうですね」と池田さん。

また、時期に応じて振り袖、留め袖、訪問着などを次々と、消費者に押しつけるような従来の着物業界のやり方に疑問を抱いた池田さんは、これまでとは違った角度からのアプローチ

にシフトエンジンしてきた。

「着物の必要性が失われてない今だからこそ、単に身に付けるものとして捉えるのではなく、ファンション性を訴えて、着る楽しみを感じてもらいたい」。その方針は、店舗「和想館」に体現されており、呉服店特有の振り袖、留め袖などのディスプレーはなく、カフェが併設され、西洋風のクラシカルな雰囲気が漂っている。また、安価での着付け教室や、着物を着て文化と遊びを楽しむイベントを定期的に開催。これが奏功して、幅広い着物ファンが「増殖中」だ。

そして15年、創業当時からの目標だった海外出店第1号となるロンドン支店をオープンさせる。「ロンドン、パリの街中を着物で歩いてみる」が、それが毛利彰さんのものだったとは! 素晴らしいですね。今は多くの号は永久保存とします。

(大阪府高槻市 中村宗男)

長い間、「どつとりNOW」を愛読してきましたが、巻頭特集がこれほどの誌面を占めるのは、初めてではないかと思いました。伊勢丹のポスターは記憶にあります

と、たくさんの方に声をかけてもらい、海外でも着物は通用する!」と出店への確信を得た瞬間を振り返る。

池田さんが提唱する「和の心」とは、「心の調和を大事にし、お互いを尊重しあう」こと。その思いが広まれば、世界はもっと優しくなり、その先にはガンジーが目指した平和へと繋がると信じている。法曹界ではなかつたが、池田さんは、和服の世界でそれを実現できるかも知れない。



株式会社 和想

代表／池田 訓之
設立／2005年8月
資本金／1000万円
所在地／鳥取市南隣460
電話番号／0857-30-6599
URL／http://waso-net.com/

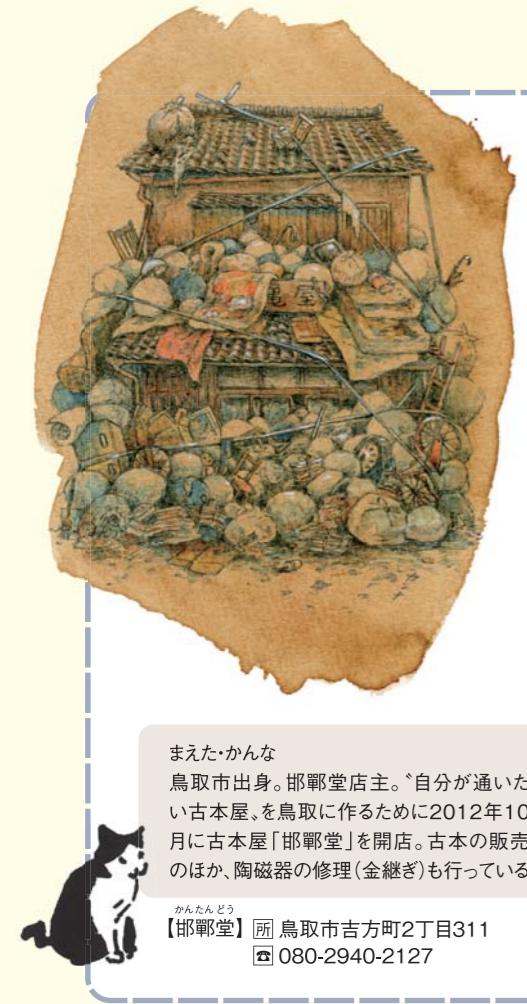
ニューキモノコレクション
by Noriyuki Ikeda
(写真提供:和想)

2015年にオープンしたロンドン支店の外観(写真提供:和想)



字文の迷宮をゆく

つれづれ書林女子



「ゴミ」と呼ばれた人生

『巡礼』(橋本治著・新潮文庫)

かつて他愛ない笑顔があり、家族と思う心があり、未来への希望を託された一軒の家。そしてそれを背負った男の葬送の物語。

近隣住民から忌み嫌われ、ワイドショーの恰好のネタになるゴミ屋敷に一人住む男には、戦後の変遷の中を人並みに泣き笑いした平凡な過去があった。大事に守ってきた

理解不能のモンスターであるはずの男の悲しみや孤独が痛いほど私をえぐったのは、それが決して狂気ではなく、人間が意味ある存在であろうとして、誰しも持ち得るありふれた感情だったからだ。

幸せな人生という「正体不明の呪縛」から解き放たれたとき、男は初めて「生きる」ことができたのかもしれない。

文・イラスト／前田環奈

まえた・かんな
鳥取市出身。邯郸堂店主。自分が通いたい古本屋、を鳥取に作るために2012年10月に古本屋「邯郸堂」を開店。古本の販売のほか、陶磁器の修理(金継ぎ)も行っている。

【邯郸堂】
【邯郸堂】 鳥取市吉方町2丁目311
080-2940-2127

voice

■ 117号の感想から ■

(島根県出雲市 佐々木淳子)

「ここにこの人」の東條真千子さんの記事に感心。今までステップを作ることが少なかったのですが、家族の健康のため、心も温まるステップを作つてみたいと感じました。

(千葉県山武市 倉田信)

「きらり匠人」は毎回、興味深

いです。匠たちの伝統技術へのこだわり、またそれを次世代へ伝承していく強い責任感に、いつも敬服しています。鳥取には、まだまだ違う分野の匠人が多数おられるんでしおね。今後も期待しております。

(大阪府守口市 藤中一志)

『NOW』はB5判の創刊号から愛読を続け、ほぼ全号を收藏しております。今号の巻頭特集「毛利彰の世界」は、まさに庄巻の内容で感動しました。当分、手元に置いて繰り返し愛読したいです。

(鳥取県倉吉市 太田章雄)

『NOW』を初めて手に取りま

した。読み応えのある内容にびっくり。なかでも、巻頭特集で取り上げた毛利彰という方の一生は、すばらしいの一言に尽きます。人生をやり直せるならば、手本にしたいと思います。

(広島県広島市 伊藤守夫)

今回の特集で舞踊「夢の破片」

(兵庫県神戸市 細田武彦)

の記事を読み、河本緑石の存在を初めて知りました。多才な人物で

鳥取県の誇りですね。

鳥取県の誇りですね。

「もっと気軽に着物を楽しんで欲しい」と池田さん

読者プレゼント

応募〆切
2018.
6/30
消印有効

■応募方法
貢右上のクイズの答え、ご意見、ご感想とともに希望の商品名と記号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、下記までお送りください。ハガキまたはメールで受け付けています。なお、感想が次号の「VOICE」に掲載される場合、住所、氏名が明記されることを了承ください。当選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

■プレゼント応募にはクイズへの回答が必須です。本誌を読み、貢右上のクイズにお答えください。

■応募先
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220
鳥取県広報連絡協議会(鳥取県内)
「とっとりNOW読者プレゼント」係
メールアドレス: now@kouhoren.jp

※お預かりした個人情報は、プレゼント発送以外の目的に使用することはありません。

●118号プレゼント応募用クイズ●

Q 鳥取砂丘をイメージした衣装でパフォーマンスする「動く砂像」のうち、しゃんしゃん傘をモチーフにしたキャラクターの名は? 空欄の4文字にご記入ください。

□ □ □ □

117号のクイズの答えは
「河本緑石」
「巻頭特集」の記事中に正解あり。

A



ブルーベリーリーフ&ハーブティ午後の贅沢 (5名)

ブルーベリーの葉茎・果皮と3種類のハーブをミックスしたお茶。香り高く、爽やかな酸味と甘味が口いっぱいに広がる。食品添加物、砂糖不使用。

問 株式会社アグリネット琴浦

☎ 0858-55-0212

B



【3名】

鳳梨パイナップルケーキ (8個入)

パイナップルと二十世紀梨のジャムをバター生地で包んだひと口サイズのケーキ。国際食品・飲料展「FOODEX 美食女子グランプリ2018」で金賞受賞。

問 ブライアンテック有限会社

☎ 0859-21-0714

C



【20名】

生姜パウダー「生姜力」 (15g)

鳥取市気高町産「日光生姜」を低温乾燥して粉末にした商品。特有の辛味を手軽に味わえる。肉・魚料理のほか、紅茶やサイダーに入れても美味。

問 おしごり調剤薬局有限公司

☎ 0859-27-0338

D



【1名】

絵本「大山日本遺産物語」 (100g)

紙芝居で上演する(7頁)内容をまとめた絵本。大山の地蔵信仰の歴史や牛馬市の成り立ちを、わかりやすい表現と2種類のイラストで紹介。

問 吉島潤承

☎ 090-3178-6774

E



【3名】

大山町の肥沃な土壌で、地元農家が丹精込めて育てた落花生。殻付き焙煎によって、本来の香りと旨みを凝縮させた。健康志向のつまみにも。

問 一般財団法人大山恵みの里公社

☎ 0859-54-6600

F



顆粒スティック (2g×15本) (5名)

県認証の特別栽培玄米を長時間焙煎し、顆粒にしたコーヒー風味の飲料。食物繊維やポリフェノールを豊富に含み、食生活や美容が気になる人にオススメ。

問 有限公司ビーエムステーション

☎ 0859-56-5539

G



【2名】

鹿革小銭入れ (タテ6cm×ヨコ10cm)

若桜町で駆逐したニホンジカの皮を「なめし革」にして加工した小銭入れ。軽量で、鹿革特有の柔らかな風合いは使い込むほど手に馴染む。

問 若桜革工房Dear*Deer

☎ 0858-82-0875 ※色は選べません

H



【3名】

大山どまん中らーめん (生麺2食・スープ付)

麺にこだわり、大山町産の小麦「ミナミカオリ」を100%使用。モチモチとした食感が特徴だ。ブランド鶏「大山どり」でダシを取った塩味スープ付き。

問 一般財団法人大山恵みの里公社

☎ 0859-54-6600

Editor's note

□ ■編集後記 ■□

新連載「花咲くYokai談」(28頁)がスタートした。御大・水木さんの功績は言わずもがな。対面は叶わなかったが、私は『水木ワールド』の妖怪が大好き。「会ってみたいなあ」と夢見ているが、人生半ばを過ぎた今も、未だお目にかかる

ず。せめて、その「生態」を誌面で紹介したく、水木さんの「妖怪バイブル」を手にとった。その数、なんと約750体強。ワクワク、ニヤニヤ…。頁をめくる手がもう、やめられない、とまらない。特徴はもちろん、多くの紹介に「出会った際の対処法」があるのがオモシロイ。いざ、に備えて覚えておかなくちゃ! ▼そもそも妖怪は、幽霊のよう

に個人を対象に恨みを抱えていたりはしないらしい。このネガティブじゃない感じも、好感が持てる。まあとにかく、日本いや世界各地で、これだけ伝承があるので、きっといつか会えるはず。その時は記念写真をお願いしよう。いまや携帯カメラでパシャっただし、あ、もしや画像には映らないのか!? …懸念材料ではある(苦笑)。【Hi】